

「生物多様性をめぐる 科学と社会の対話」 in 南北海道

日 時：平成22年9月23日（木）13：00～19：30

場 所：北海道黒松内町環境学習センター（北海道寿都郡黒松内町字黒松内 584）

定員 100名 参加費無料・要参加申込み

開催趣旨

統合生物学は、遺伝子から生態系までの生物学的階層における複雑で動的な生物のシステムを、生命史・進化の視点から科学的に解明する基礎科学分野を広く含み、生物多様性を科学研究の対象とする学術領域です。

本シンポジウムでは、統合生物学の今の姿をお伝えするとともに、地方自治体、市民、NGO、メディア、大学など多様な主体が相互にかかわりながらすすめている生物多様性の保全・再生・持続可能な活用のための活動・実践についての情報を交換し、生物多様性の危機を克服し、社会の持続可能性を確保するための新しいフォーラムのモデルを提示します。

次 第

13:00～13:20 開会のあいさつ

「開会にあたって 日本学術会議統合生物学委員会から」

鷲谷いづみ（東京大学）

「開催地を代表して」

若見雅明（黒松内町長）

13:20～15:30 第一部 リレートーク

統合生物学が切りひらく生物多様性研究の最前線

・世界に花が咲いた日 西田治文（中央大学）

・生命史 40 億年に起こった3大事件の犯人探し

美宅成樹（名古屋大学）

・微生物の多様性を訪ねて

今中忠行（立命館大学）

・深海：生物多様性のゆりかご

北里 洋（海洋研究開発機構）

・飛べなく進化した鳥類の悲劇

松本忠夫（放送大学）

・人類は多様性が減少してきた

斎藤成也（国立遺伝学研究所）

15:45～16:00 第二部 統合生物学委員会からの提言

「生物多様性の保全と持続可能な利用のために：

学術分野からの提言」 鷲谷いづみ

16:00～17:30 第三部 生物多様性戦略と実践

・生物多様性国家戦略と関連する政策（環境省自然環境局）

・北海道生物多様性保全計画（北海道環境生活部自然環境課）

・地域からの実践報告（黒松内町、寿都町、島牧村）

・質疑応答

18:00～19:30 第四部 市民対話（交流会）

※ 第四部は希望者のみ、交流会形式で行われます。

参加者からは、交流会参加費として2,000円を頂戴致します。

参加申込みは以下のどちらかの連絡先に、電話・FAX・メールのいずれかにて
ご氏名・ご所属・電話番号、交流会の参加の有無を明記の上ご連絡下さい。

参加申込み・お問い合わせ先

■ 東京大学大学院 農学生命科学研究科 保全生態学研究室 担当者：中原

電話：03-5841-8915 Fax：03-5841-8916

E-mail: taiwa.tayousei@gmail.com

■ 黒松内町環境政策課 担当者：高橋

電話：0136-72-3374 Fax：0136-72-3316

E-mail: eco@town.kuromatsunai.hokkaido.jp